

チルドレンファーストの社会の実現に向けた子供政策強化の方針2023（概要版）

「子供政策強化の方針2023」の位置づけ

- 子供を取り巻く環境を踏まえた**子供政策の課題**と**今後の政策強化の方向**を示すもの
- **都民や都議会、区市町村、各分野の有識者の皆様**から幅広く意見を伺うとともに、法・制度等を担う**国とも連携しながら、多様な視点から子供政策を推進**
- 本方針に基づき、子供政策の更なる加速につなげるとともに、**年度内を目途に**、その内容を反映した「**こども未来アクション2024（仮称）**」を策定

I 子供の意見やエビデンスに基づく子供政策の推進

子供を客体ではなく、主体として捉え、当事者である**子供の声を中心に**据えた取組を加速させ、**子供の目線に立った実効性のある子供政策を推進**

こども都庁モニター

子供の意見を各局の施策に反映させ、子供目線の取組を全庁的に推進するための新たな仕組みとして創設

- 全ての年代の子供を対象とした**1,200名のモニター**から、各局の施策に対する意見を聴取
- 令和5年度は、**遊びや学び、居場所、まちづくり、環境など、ハード・ソフトの幅広い分野**を対象に実施

子供に関する定点調査「とうきょう こども アンケート ～みんなと考える「いま」と「みらい」～」

従来の行政分野の枠組みにとらわれず、**子供に関する実態や意識の変化を定点で把握**するために創設

- 長期にわたり**同一年齢の子供とその保護者に同一の質問**を行い、経年の変化も把握・分析
- **学識経験者等による検討会議**の議論を踏まえ、調査項目等を決定

子供の居場所におけるヒアリング

- 令和5年度は、**児童館、子供食堂、日本語教室、児童養護施設、放課後等デイサービス**等を対象とし、**実施規模を拡大**
- **専門家会議**を立ち上げ、成長・発達段階に応じた対話手法の改善等、**質の向上を図る**

SNSを活用したアンケート

学校での出前授業

今後の方向

意見表明・意見聴取 エビデンス

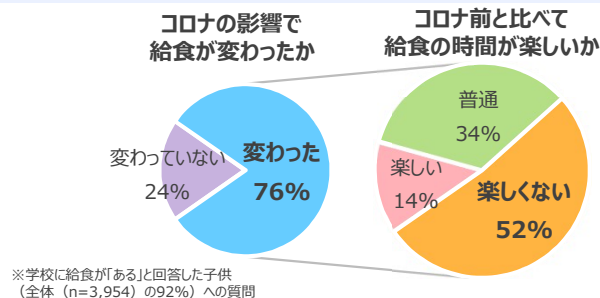
- アンケート・ヒアリングを通じた意見聴取に加え、**子供が主体的に議論・提案し、社会参加できる仕組み**を構築
- 長期にわたるデータの蓄積により**経年変化を分析**し、より強固なエビデンスに基づく先進的で実効性のある政策を推進

施策へ反映

- 当事者である子供の意見や議論・提案を受け止めて、**施策に反映し、エビデンスに基づいて子供政策を推進**

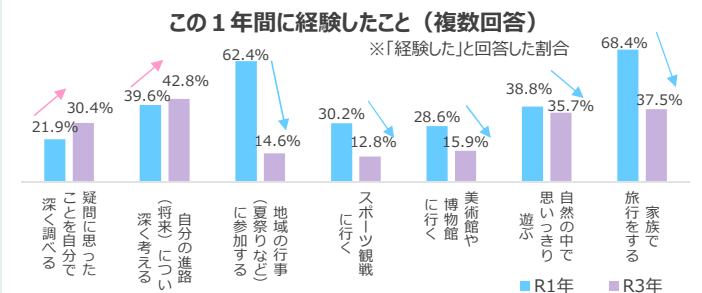
コロナ禍における子供の状況

- コロナの影響で給食に変化があったと回答した子供の半数以上が、**コロナ前と比べて給食の時間が楽しくない**と感じていた



（資料）ニフティキッズ「みんなのホンネ 調査レポート『給食について』」を基に作成 ※対象：未就学児以上
※調査時期：令和3年5月

- 旅行や地域行事への参加など、**様々な体験機会が減少**
- 一方、疑問点などを**自分で深く調べる活動は増加**

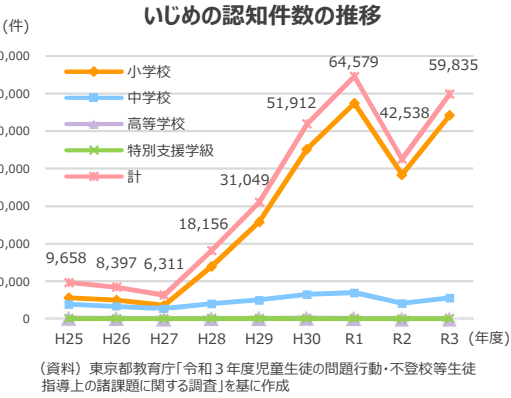


（資料）東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所「子どもの生活と学びに関する親子調査2021」を基に作成
※対象：中学生（令和元年：n=3,168、令和3年：n=3,433）

Ⅱ チルドレンファーストの社会の実現に向けた子供政策強化

Ⅱ－1 今後の政策強化の方向

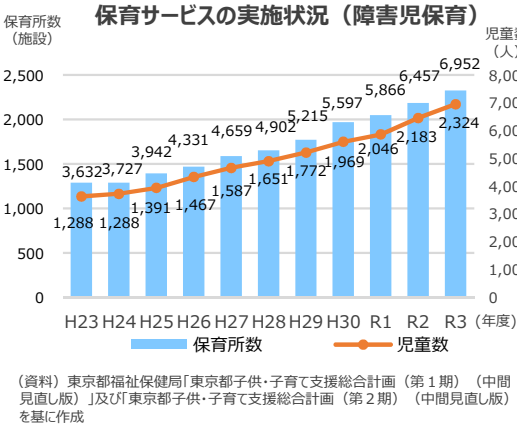
【政策の柱1】誰一人取り残さない視点から、子供へのサポートを強化



- いじめや不登校、自殺等の件数が増加傾向にあるなど、**困難に直面し悩みを抱え、生きづらさを感じている子供が増加**
- 孤独・孤立に関する悩みや不安を抱える子供たちを受け止め、**全ての子供が安心して成長できるためのセーフティネットを形成していくことが必要**

政策強化の方向 様々な困難を抱える子供に寄り添い、一人ひとりの状況に応じた支援を強化

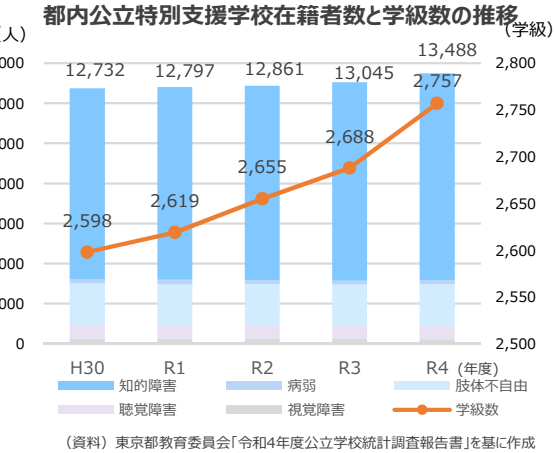
【政策の柱2】子育て世代に寄り添い、妊娠・出産・子育てを全力で応援



- **安全・安心な保育実施体制の整備など更なる質の向上が必要**
- 子育ての負担や不安等を抱える**在宅子育て家庭など、全ての子育て家庭の多様なニーズ**に応えていくことが求められている
- 学童クラブなど**放課後における子供の安全・安心な居場所確保**のニーズに応える取組が必要

政策強化の方向 子育て家庭のニーズを踏まえ、質・量の両面から安心して子供を育てられる環境づくりを推進

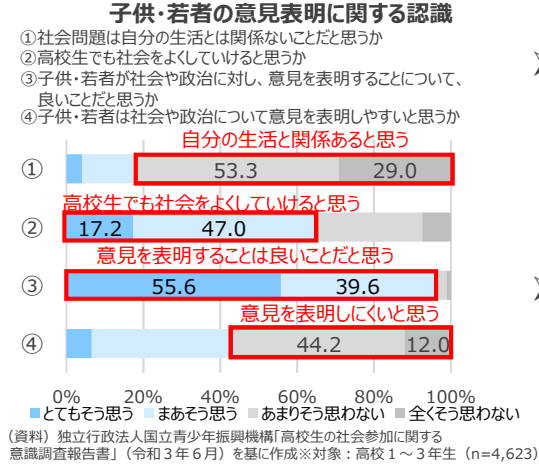
【政策の柱3】「東京型教育モデル」により、教育の質を向上



- 障害の有無などにかかわらず、**あらゆる子供の可能性を伸ばし、一人ひとりの多様なウェルビーイングを実現する教育環境の充実が求められている**
- デジタルを活用した問題解決力など、これからの時代を切り拓く力を身につけられるよう、**子供たちの学びや挑戦を応援することが必要**

政策強化の方向 変化の激しい時代において、DXも活用しながら、誰一人取り残さず、一人ひとりの学び・挑戦を支援

【政策の柱4】多様な主体と連携し、子供の笑顔を育むアクションを展開



- **子供が社会の一員として、地域課題の解決に主体的に取り組めるよう、様々なステークホルダーと連携しながら、参画の機会を創出することが求められている**
- 「育業」の推進を契機として、夫婦で協力して育児ができ、**親子時間を大切にしたい多様な働き方を推進していくことが必要**

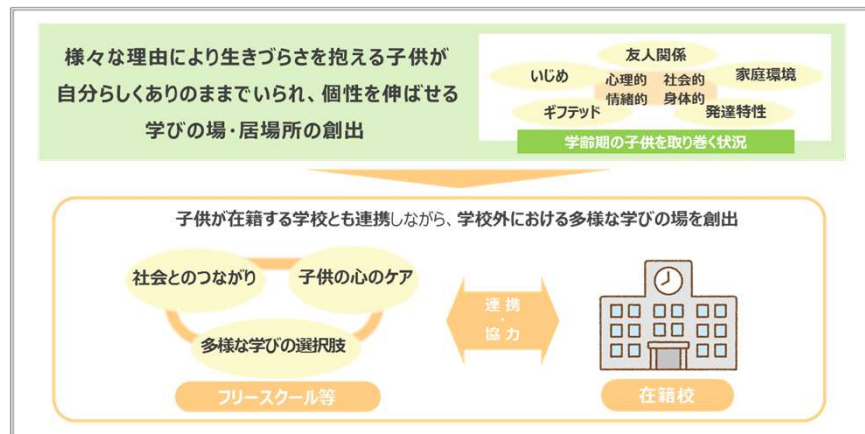
政策強化の方向 官民が一体となって、子供の社会参画の機会を創出するとともに、多様な働き方を更に推進

Ⅱ－２ 推進チームによるリーディングプロジェクトの今後の政策強化の方向

学齢期の子育ち

【政策強化の方向】

- フリースクール等に通う子供や運営団体に対するアウトリーチ型のヒアリングに加え、国内外の先進事例調査等を通じてニーズや課題を分析
- 新たに「学校外での子供の多様な学びに関する有識者会議」を立ち上げ、その議論も踏まえながら、学校外の多様な学びのあり方について検討



乳幼児期の子育ち

【政策強化の方向】

- 乳幼児「子育て」応援プログラム推進事業
⇒ R5年度の実践を踏まえたプログラムの全域展開
- 多様な他者との関わり
の機会の創出事業
⇒ 実効性の高い事業展開
- 「乳幼児期の子育ち」の戦略的広報

乳幼児「子育て」応援プログラム推進事業

各園の環境や強みを活かしながら、「自然」「芸術」など各園が選択したテーマに沿って、成長・発達段階や興味・関心に応じた探究活動を実践

多様な他者との関わり の機会の創出事業

幼稚園や保育所等を地域の社会資源として位置付け、子供・保護者ともに支援

知見の活用

“CEDEP”（東京大学大学院 教育学研究科 附属 発達保育実践政策学センター）と協定締結

子育てのつながり創出

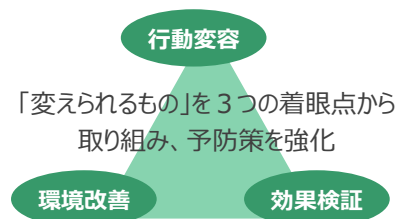
【政策強化の方向】

- 子育て家庭へのきめ細やかな見守りを実現
- 地域における子育て支援力の強化
- SNSを利用したチャットにより、孤独・孤立の予防へ

子供を事故から守る環境づくり

【政策強化の方向】

- 「3つの着眼点」に基づき、エビデンス・ベースの事故予防策を展開し、子供の事故が起きにくい環境づくりを推進



日本語を母語としない 子供を支援

【政策強化の方向】

- 日本語学習の機会を充実
- 日常生活に必要なスキル習得を支援
- 子供目線の相談体制や居場所づくりを促進

子供の笑顔につながる「遊び」の推進

【政策強化の方向】

- 子供の意見を反映した遊び場づくりの推進
- 「遊び」を通じた多様な体験機会の充実
- 子供の「遊び」を支える人材の確保
- 子供の「遊び」に対する地域社会への理解促進

ヤングケアラーを支える

【政策強化の方向】

- ヤングケアラーを早期に把握する感度の向上
- 多機関連携の基盤及び情報共有体制の強化
- ヤングケアラーへの多面的・継続的な支援の拡充
- ヤングケアラーがいる家族全体のニーズに対する支援の強化

ユースヘルスケア

【政策強化の方向】

- ユースの声を踏まえた情報発信の強化
- ユース目線に立った相談環境の整備を推進